

学校教育目標及び学校経営方針

(1) 学校教育目標

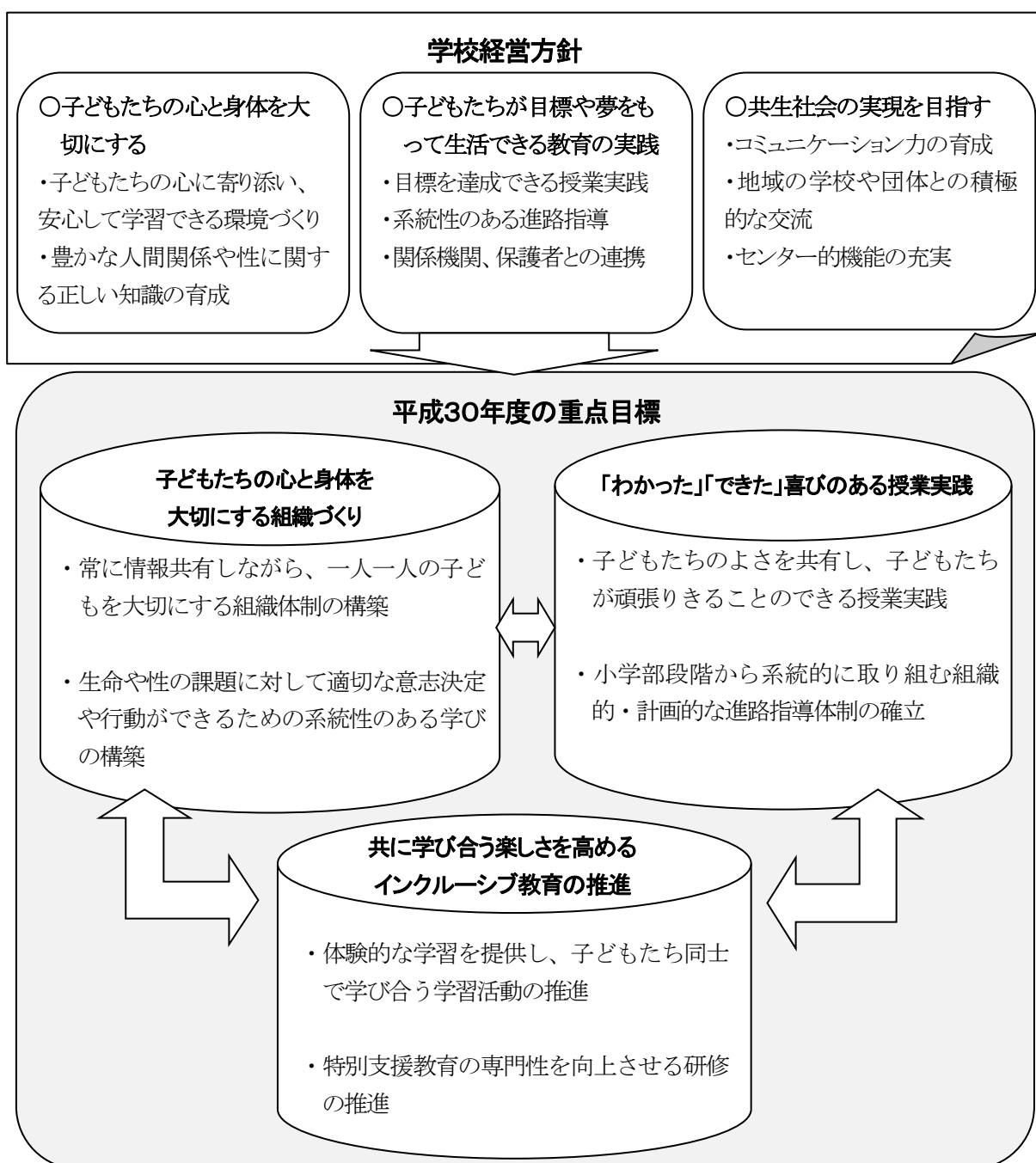
子どもたちの命を守り、願いや夢を実現する教育を実践するとともに、将来の社会参加や生活自立を可能にする教育活動の開発と創造に努める。

(2) 願う子どもの姿

願う子どもの姿

- 【丈夫な子】 自分の心と身体を大切にする
- 【明るい子】 相手を思いやり、支え合いながら楽しく生活する
- 【努力する子】 目標や夢に向かって努力する

(3) 学校経営方針



(5) 学部の重点

		小学部	中学部	高等部		
目標		<ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域生活に関する基礎的能力や意欲を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学部・小学校段階で積み上げてきた基礎的能力を働くことや生活の場において変化に対応できる力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学部・中学校段階で培ってきた能力を土台に働くことの知識・技能の獲得や必要な習慣形成を図る。 		
丈夫な子	自分の体や命を大切に する	<ul style="list-style-type: none"> 排泄・食事・睡眠等の生活リズムを作るとともに、体を清潔にしたり、身なりを整えたりする。 日常生活に必要な簡単なきまりが分かり、それらを守って生活する。 	<ul style="list-style-type: none"> 体の成長に関心をもったり、健康・安全に関する初歩的な事柄を理解したりする。 社会生活にいろいろな決まりがあることを知り、それらを守る。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康で安全な生活に必要な知識と技能を習得し、健康管理を行う意欲や意識をもつ。 社会や国にいろいろな決まりがあることを知り、それらを適切に守る。 		
		明るい子	地域とつながり、 明るくたくましく生活する	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人に挨拶をしたり、簡単な応対をしたりする。 友達を意識し、働きかけたり合わせたりしながら活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 場の状況や相手の立場を理解して、挨拶したり場の目的に応じた振る舞いをしたりする。 集団生活に慣れ、自分の意見を述べたり、相手の立場を考えたりして、互いに協力し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、言葉遣い、敬語の使用等、相手に応じた適切な振る舞いをする。 状況に合う行動を判断し、協力してやり遂げようとする。
				努力する子	できることを増やし、 願いや夢を実現する	<ul style="list-style-type: none"> 学級等の基礎的な集団活動において簡単な役割を主体的に果たす。 自分のことは自分でしようとする。

(5)障がい種別在籍児童生徒数

		障がい別			学年 別 児童 生徒 数	学級数			性別		通学方法					計
		知的 障がい	肢体 不自 由	病弱		通常	重複	計	男	女	スクール バス	福祉 施設 から	寄宿舍	自力	自家用車 (付添)	
小学部	1年	11	(2)	1 (1)	15	3	2	5	12	3	14	0	0	0	1	15
	2年	7			7	2		2	5	2	7	0	0	0	0	7
	3年	12 (1)	(1)	1	15	3	1	4	13	2	15	0	0	0	0	15
	4年	5	(8)	(1)	14	1	3	4	11	3	13	0	1	0	0	14
	5年	2	(1)	1	4	2	1	3	3	1	4	0	0	0	0	4
	6年	6	(4)	(1)	11	1	2	3	4	7	11	0	0	0	0	11
	計	44	16	6	66	12	9	21	48	18	64	0	1	0	1	66
中学部	1年	8 (1)	(3)	1 (1)	14	3	3	6	8	6	11	0	1	0	2	14
	2年	8	(2)	1 (2)	13	3	1	4	10	3	12	0	0	0	1	13
	3年	17	(1)	(1)	19	3	1	4	13	6	16	0	1	1	1	19
	計	34	6	6	46	9	5	14	31	15	39	0	2	1	4	46
高等部	1年	25	(2)	1 (3)	31	5	2	7	19	12	13	0	7	11	0	31
	2年	28	1 (1)	(2)	32	5	1	6	27	5	13	0	3	16	0	32
	3年	33	(6)	(1)	40	5	2	7	27	13	11	0	10	16	3	40
	計	86	10	7	103	15	5	20	73	30	37	0	20	43	3	103
計	164	32	19	215	36	19	55	152	63	140	0	23	44	8	215	

備考：()は重複障がい児童生徒数

|

|